

科目名	経済学入門	科目分類	■専門科目群 (第1グループ)
			□総合科目群 (第2グループ)
			経済 学科 ■必修 □選択
			法律 学科 □必修 ■選択
英文表記	Introduction to Economics	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	楠山 大暁	修得単位	2単位
授業のテーマ	経済学的な分析手法の基本を学びます。		
授業概要	私たちは世界でも有数の豊かな国に暮らしています。その一方で、貧困にあえく国も数多く存在することも事実です。なぜ、豊かな国とそうでない国が存在するのでしょうか？ 本講義ではこのような問題意識のもと、そもそも豊かさとは何か、そして豊かさを維持していくためには何が必要なのか、経済学的な根拠に基づき考えていきます。		
到達目標	市場経済の成り立ち、豊かさの尺度としてのGDPを理解することを目標とします。		
授業時間外の学習	指定したテキストの該当箇所をよく読んでください。 期末試験のほか、中間テストを2回実施します。講義の復習をしっかりとってください。		
履修条件	予備知識が無くても理解できるよう、授業を進めます。		
授業計画			
第1回	ガイダンス		
第2回	人類史1万3,000年の謎		
第3回	豊かさの尺度としてのGDP		
第4回	GDPではかる経済成長率		
第5回	なぜ、世界には豊かな国と貧しい国が存在するのか？		
第6回	市場経済を成立させるもの 信頼		
第7回	共同体		
第8回	中間テスト		
第9回	市場とは何か①		
第10回	市場とは何か②		
第11回	家計と企業		
第12回	交換の余剰		
第13回	夜警国家と福祉国家		
第14回	混合経済		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		
テキスト	パーサ・ダスグプタ(2008)『経済学』岩波書店		
参考文献・資料	Dasgupta, P. (2007) <i>Economics A Very Short Introduction</i> , Oxford University Press. 英語に興味のある人は是非原書にも挑戦してください。 ジャレド・ダイヤモンド(2012)『銃・病原菌・鉄 1万3000年にわたる人類史の謎』草思社		
成績評価の方法	【平常点(10%)、中間テスト(25%)、レポート(25%)、定期試験(40%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合は試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・レポート課題は授業内で提示します。 ・授業の理解及び予復習が充分であるかを確認するため、第8回授業時に中間テストを実施します。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	毎週月・木曜日 13:00~14:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。		
学生へのメッセージ	経済をとおして人間社会の営みに迫りましょう。		

科目名	現代経済入門	科目分類	■専門科目群 (第1グループ)
			□総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 ■必修 □選択
		学科 □必修 □選択	
英文表記	Introductory of Modern Economy	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	やまもと しゅん	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	山本 俊	修得単位	2単位
授業のテーマ	日本経済の特徴とその問題点を、世界経済と関連付けて学習する。		
授業概要	授業内容は3つの部分から構成される。第1部では経済システムの形成過程に注目し、第2部では経済の構造的問題を取り上げる。第3部では最近の経済問題に注目する。授業は統計データに依拠したグラフや表を基に進め、客観的で現実に即した授業を心がける。		
到達目標	各受講者には日本経済の全体像と、個別専門領域に取り組むための基礎事項を修得して欲しい。		
授業時間外の学習	定期的に配布する確認問題に一生懸命取り組み、解答後に提出して欲しい。復習を徹底して欲しい。		
履修条件	なし。ただし、高校の政治経済の教科書を再読しておいて欲しい。		
授業計画	講義資料と教科書を併用して授業を進める。		
第1回	第1部 日本の戦後復興と経済成長①：経済成長は目に見えるのか？		
第2回	第1部 日本の戦後復興と経済成長②：経済成長に対する物価変動の影響とは？		
第3回	第1部 日本の戦後復興と経済成長③：経済成長によって何が得られるのか？		
第4回	第1部 日本の戦後復興と経済成長④：戦後復興期、日本は何を優先したのか？		
第5回	第1部 日本の戦後復興と経済成長⑤：高度経済成長を実現させた要因は何か？デニソンの見方とは？		
第6回	第1部 日本の戦後復興と経済成長⑥：石油危機からバブル経済の崩壊まで、低成長時代には何があったのか？		
第7回	第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化①：3つの経済体制と資本主義の台頭とは？		
第8回	第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化②：アングロサクソン型とライン型資本主義の違いとは？		
第9回	第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化③：日本の民間部門の特徴とは？（雇用、企業統治、金融）		
第10回	第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化④：グローバル化による日本経済の変化とは？（生産部門）		
第11回	第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化⑤：グローバル化による日本経済の変化とは？（企業統治部門）		
第12回	第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化⑥：グローバル化による日本経済の変化とは？（雇用・労働面）		
第13回	第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化⑦：グローバル化による日本経済の変化とは？（金融部門）		
第14回	第3部 我が国の経済問題①：少子高齢化と格差社会の問題。地方創生と経済学の視点。		
第15回	第3部 我が国の経済問題②：自然環境の変化と食糧問題。持続可能な社会に向けた経済学の役割。		
第16回	定期試験		
テキスト	塚崎公義『よくわかる日本経済入門』朝日新書、2013年		
参考文献・資料	浅子和美・篠原総一 編『入門・日本経済』有斐閣、2011年（幅広い経済分野をカバーしている）		
成績評価の方法	期末試験60%、課題30%、コメントシート10%の合計を基に評価する。 確認問題を配布する。受講者は自らの理解度を確認するためにも必ず解答すること。 試験については努力が報われるような出題を心がける。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	月・水・金曜日の5限をオフィスアワーとする。ただし、研究室に在室中は原則として質問に応じる。		
学生へのメッセージ	日本経済についての好奇心を喚起し、さらに詳しく学びたいような授業としたい。		

科目名	経営学基礎論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			観光学科 □必修 ■選択
英文表記	Fundamentals of Management	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	たかちほ やすなが	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	高千穂 安長	修得単位	2単位
授業のテーマ	公共、民間の事業体の経営について、基礎的な理解を得る。		
授業概要	経済学の発展科目である、経営学について、経営資源を調達し、活用し、事業体として存続していくかを理論と実践例で紹介していく。		
到達目標	経済記事が理解でき、自分の意見を表明できるようになる。		
授業時間外の学習	各回の講義時に、次回の講義レジュメが配布される。参考図書やwebにより事前学習をする。		
履修条件	なし。		
授業計画			
第1回	イントロダクション	経営学入門で学ぶこと、成績評価等の解説 企業経営入門	
第2回	企業と社会		
第3回	コーポレート・ガバナンス		
第4回	企業形態・組織形態		
第5回	経営組織		
第6回	経営理念と経営戦略		
第7回	技術開発		
第8回	生産管理		
第9回	財務・会計		
第10回	人的資源管理		
第11回	モチベーションとリーダーシップ		
第12回	流通経営		
第13回	マーケティング		
第14回	国際経営		
第15回	総復習	学生の理解が低い箇所について解説	
第16回	定期試験		
テキスト	毎回、次回講義レジュメを配布する。		
参考文献・資料	1 中原秀登 『基本経営学』新世社 (中公新書) 2004年 2 伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門』日本経済新聞社 2003年		
成績評価の方法	出席が2/3に満たない場合は受験を認めない。また、遅刻は1回につき1/3欠席とする。 成績評価は、受講態度(含討議参加度)など平常点40%、期末テスト40%、ミニテスト等20%とする。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	月曜2限、水曜4限		
学生へのメッセージ	経営活動は経済活動の最前線なので、しっかりと理解する必要がある。		

科目名	簿記入門Ⅰ	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	An Introduction to Bookkeeping I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	くにいのりお	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中
担当者名	國井法夫	修得単位	4単位
授業のテーマ	日商簿記検定試験3級に合格する。		
授業概要	3級の範囲をわかりやすく説明する。		
到達目標	日商簿記3級合格		
授業時間外の学習	宿題を出しますので、必ずやってくること。		
履修条件	欠席をしない。欠席をするとわからなくなります。		
授業計画			
第1回	簿記の意味・目的・種類	第17回	売掛金と買掛金(2) 買掛金とは その処理
第2回	簿記の基礎概念(1) 資産・負債・資本について	第18回	その他の債権と債務(1) 貸付金・手形貸付金等の処理
第3回	簿記の基礎概念(2) 費用と収益について	第19回	その他の債権と債務(2) 未収金・未払金等の処理
第4回	取引と勘定と仕訳(1) 経済取引を仕訳にする	第20回	手形(1) 手形とは
第5回	取引と勘定と仕訳(2) 経済取引を仕訳にする	第21回	手形(2) 手形の処理方法
第6回	帳簿の記入 帳簿への記入方法	第22回	有価証券・固定資産
第7回	決算と財務諸表(1) 貸借対照表について	第23回	減価償却 減価償却とは その処理方法
第8回	決算と財務諸表(2) 損益計算表について	第24回	資本金と引出金 処理方法について
第9回	現金預金取引(1) 現金等の処理	第25回	試算表の作成 仕訳から総勘定元帳への転記の確認
第10回	確認小テスト	第26回	税金、帳簿と伝票 3伝票制の処理について
第11回	現金預金取引(2) 当座預金の処理	第27回	決算と財務諸表 決算手続きについて
第12回	現金預金取引(3) 当座・当座買い越しについて	第28回	決算と財務諸表 売上原価の計算とその処理について
第13回	商品売買(1) 分記法	第29回	決算と財務諸表 費用収益の繰延べと見越し等
第14回	商品売買(2) 3分法について	第30回	精算表等の作成
第15回	売掛金と買掛金(1) 売掛金とは その処理	第31回	損益計算書と貸借対照表の作成
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験
テキスト	滝澤みなみ著『簿記の教科書日商3級』TAC 演習用プリント		
参考文献・資料			
成績評価の方法	試験の得点 (60%)・レポート提出 (10%)・学習態度 (30%) 等で総合評価します。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	木曜日5時間目		
学生へのメッセージ	休まないこと。欠席が成績に直結します。		

科目名	ミクロ経済学Ⅱ	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	MicroeconomicsⅡ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	やまもと しゅん	開講期間	■前期□後期 □通年 □集中
担当者名	山本 俊	修得単位	2単位
授業のテーマ	ミクロ経済学における生産理論及び市場理論を中心に学習し、発展的な学習に必要な基盤を養成する。経済学的な合理性について理解し、経済学の視点を学ぶ。		
授業概要	ミクロ経済学Ⅱでは、生産理論を重点的に学習する。表面的理解だけでなく、諸理論の導出についても、丁寧に解説することで、到達水準を低下させないように心がける。		
到達目標	この授業では、ミクロ経済理論の学習を通じて「考える力」の向上を目指す。さらに、期末試験では、公務員の専門試験問題も出題するなど、基本的な受験力の向上も目指す。		
授業時間外の学習	定期的に確認問題を配布するので、解答した後に提出して欲しい。		
履修条件	入門経済学やミクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱを履修済み、または同時に履修していることが望ましい。		
授業計画	講義資料と教科書を併用して授業を進める。		
第1回	テーマ：ガイダンス ミクロ経済学の全体像		
第2回	テーマ：生産理論① 生産要素と生産技術。「技術を可視化する。機械一台あたりの労働者数は？」		
第3回	テーマ：生産理論② 等量曲線。「100tを生産するには、何通りの方法もある」		
第4回	テーマ：生産理論③ 技術的限界代替率とその逓減。「生産の機械化で労働者はどれくらい削減できるか」		
第5回	テーマ：生産理論④ 生産関数と規模に関する収穫。「等量曲線は等高線！！」		
第6回	テーマ：生産理論⑤ 限界生産物とその逓減。「機械だけ、労働者だけの拡大は、生産効率を低下させる！」		
第7回	テーマ：生産理論⑥ 等費用曲線。「1億円で生産可能な製品Aと製品Bの数量の組み合わせを図示しよう」		
第8回	テーマ：生産理論⑦ 費用最小化投入ベクトル。「等費用曲線と等量曲線の接点を持つ意味とは？」		
第9回	テーマ：生産理論⑧ 費用関数。「ある生産量を最も低コストな方法で生産する場合、いくらでできるか？」		
第10回	テーマ：生産理論⑨ 限界費用。「生産を1単位追加した場合、費用はどれだけ増加するのか？」		
第11回	テーマ：生産理論⑩ 平均費用と規模の経済。「生産1単位当たりの費用はいくらか？それは生産を拡大すると？」		
第12回	テーマ：生産理論⑪ 費用、限界費用、平均費用、平均可変費用の関係。「図示すると分かることがいっぱいある」		
第13回	テーマ：生産理論⑫ 損益分岐点、操業停止点と供給関数。「損失が出て、固定費用を少しでも回収しよう」		
第14回	テーマ：市場と競争① 完全競争市場と利潤最大化条件。「生産者はプライステイカー。最適な生産量を選択する」		
第15回	テーマ：市場と競争② 不完全競争市場と利潤最大化条件。「生産者は価格支配力を持つ。逆需要関数の登場！！」		
第16回	定期試験		
テキスト	井堀利宏『入門ミクロ経済学（第2版）』新世社、2010年		
参考文献・資料	ロバート・ドーフマン『価格の理論』東洋経済、1965年（考え方が詳しい）		
成績評価の方法	期末試験60%、課題30%、コメントシート10%の合計を基に評価する。 確認問題を配布する。受講者は自らの理解度を確認するためにも必ず解答すること。 試験については努力が報われるような出題を心がける。		
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降に入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	月・水・金曜日の5限をオフィスアワーとする。ただし、研究室に在室中は原則として質問に応じる。		
学生へのメッセージ	ミクロ経済学はマクロ経済学とともに、経済学の基盤を形成している。ミクロ経済学を学ぶことで、我々の合理性を再認識し、自らの意思決定を見つめ直して欲しい。		

科目名	社会保障論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Social Security	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	ふじもと つよし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	藤本 剛	修得単位	2単位
授業のテーマ	社会保障制度の基本を理解し、公的年金、企業年金、公的医療保険・介護保険等の現状と課題を考えます。		
授業概要	20歳になると学生であっても、国民年金の保険料を納める義務が生じます。特例制度の適用申請を行って、とりあえずは納付を先延ばしした人もいられるでしょう。老後や障害に備えた保障の準備は国民に求められています。病気や怪我に対する備えも同様です。社会保険のシステムを用いた社会保障制度は国民の豊かで健やかな生活の実現を目指しています。制度は複雑で変化も大きいですが、現状は？将来は？さまざまな課題がある中で、私たちの将来を共に考える科目です。		
到達目標	健やかで豊かな暮らしを実現するために何が必要か。将来に向けた取り組みを考察します。		
授業時間外の学習	新聞の社会福祉関連記事を読むこと、また前週の講義内容を復習しておいてください。		
履修条件	特にありません。		
授業計画			
第1回	社会保障とは何か、その歴史と背景		
第2回	社会保障の体系、社会保険について		
第3回	公的年金制度① (制度と内容1)		
第4回	公的年金制度② (制度と内容2)		
第5回	公的年金制度③ (制度と内容3)		
第6回	公的年金制度④ (現状と課題)		
第7回	企業年金① (制度と内容)		
第8回	企業年金② (現状と課題)		
第9回	公的医療保険① (制度の概要)		
第10回	公的医療保険② (健康保険)		
第11回	公的医療保険③ (国民健康保険1)		
第12回	公的医療保険④ (国民健康保険2、薬事)		
第13回	公的医療保険⑤ (現状と課題)		
第14回	公的介護保険① (制度の概要)		
第15回	公的介護保険② (現状と課題)		
第16回	定期試験 まとめとテスト		
テキスト	プリントを使用します。		
参考文献・資料	『公務員Vテキストシリーズ 社会政策』第12版 TAC出版 『厚生労働白書』各年版		
成績評価の方法	試験 (50%)、レポート・ビデオの感想・意見等 (30%)、受講態度 (20%)		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	火曜日・水曜日の16時00分~17時00分		
メッセージ	半期で行うには対象範囲が広い科目です。予習・復習を是非行ってください。		

科目名	マクロ経済学 II	科目分類	■専門科目群(第1グループ) □総合科目群(第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Macroeconomics II	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	はたけやま あきのぶ	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	畠山 光史	修得単位	2単位
授業のテーマ	マクロ経済学への入門授業です。		
授業概要	本授業では、マクロ経済学の考え方のうち重要概念である労働市場、総需要・総供給、インフレーション・デフレーションおよび失業について学習し、これらの知識を前提として「物価変動」を考慮した場合のマクロ経済政策効果を分析します。		
到達目標	学生は、マクロ経済学の基礎概念および基礎的な分析手法を習得できる。		
授業時間外の学習	授業後には、授業内容を復習し、重要概念および分析手法を再確認してください。		
履修条件	マクロ経済学 I の知識を前提とします。		
授業計画			
第1回	イントロダクション		
第2回	物価と総需要1(総需要曲線)		
第3回	物価と総需要2(物価水準の変化および経済政策の効果)		
第4回	労働市場と総供給1(古典派の総供給曲線)		
第5回	労働市場と総供給2(ケインズ派の総供給曲線)		
第6回	AD-AS 分析1(総需要・総供給と経済政策の有効性)		
第7回	AD-AS 分析2(需要ショックと供給ショック)		
第8回	前半のまとめ		
第9回	物価変動と失業の社会的費用1(インフレーション)		
第10回	物価変動と失業の社会的費用2(デフレーション)		
第11回	物価変動と失業の社会的費用3(失業)		
第12回	フィリップス曲線1(物価上昇率と失業率の相関関係)		
第13回	フィリップス曲線2(期待で修正されたフィリップス曲線)		
第14回	フィリップス曲線3(裁量的財政政策・金融政策の再評価)		
第15回	総まとめ		
第16回	定期試験		
テキスト	指定しません。		
参考文献・資料	吉川洋 「マクロ経済学(第4版)」 岩波書店 (2017) ブランチャール 「マクロ経済学(下)」 東洋経済新報社 (1999) など		
成績評価	<p>【成績評価の方法】小テスト(20%)、定期試験(80%) 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合は試験をうけることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テストを行います。 <p>【成績評価の基準】</p> <p>平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p> <p>平成27年度(2015)以前に入学した学生 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p>		
オフィスアワー	① 毎週月曜 3時限目 ②毎週木曜 2時限目		
学生へのメッセージ	経済理論系の科目は、授業後の復習を行うとともにインターネット、テレビ、新聞、雑誌等で日本経済および世界経済のマクロ経済動向を積極的に把握するように努めることが重要です。		

科目名	現代ファイナンス論Ⅰ	科目分類	■専門科目群 (第1グループ)
			□総合科目群 (第2グループ)
英文表記	Theory of Modern Finance I	開講年次	経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
ふりがな	やまもと しゅん	開講期間	□1年 ■2年 □3年 □4年
担当者名	山本 俊	修得単位	■前期 □後期 □通年 □集中
授業のテーマ	金融の基礎理論と金融論の視点を学ぶ。		
授業概要	この授業では主に金融の仕組み、基本ツール、金融市場、リスクの基本を学習する。つまり、各論を学ぶ「現代ファイナンス論Ⅱ」や「金融機関論」の基礎科目として位置付けることができる。		
到達目標	ファイナンスの基本を身につけ、現実の金融取引の仕組みや金融の基礎理論を理解できるようになること。ファイナンスの主體的学習を可能にすること。		
授業時間外の学習	定期的に確認問題を配布するので、解答した後に提出して欲しい。		
履修条件	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱとマクロ経済学Ⅰ・Ⅱを履修済みか、または同時履修して欲しい。		
授業計画	講義資料と教科書を併用して授業を進める。		
第1回	テーマ：金融の仕組み① 金融の主体と資金循環、金融の方式と機能		
第2回	テーマ：金融の仕組み② 金融仲介と金融機関、貨幣の機能		
第3回	テーマ：金融の基本的な考え方① 利子率（名目・実質）、フィッシャー仮説		
第4回	テーマ：金融の基本的な考え方② 貨幣の時間価値、2つの投資の評価方法の基礎		
第5回	テーマ：金融の基本的な考え方③ 割引債の利回りと価格		
第6回	テーマ：金融の基本的な考え方④ 利付債の利回りと価格		
第7回	テーマ：金融の基本的な考え方⑤ 金利の期間構造理論の考え方		
第8回	テーマ：金融の基本的な考え方⑥ 金利の期間構造理論とイールドカーブ		
第9回	テーマ：金融の基本的な考え方⑦ 株価の決定理論		
第10回	テーマ：金融の基本的な考え方⑧ 配当割引モデルと株価管理		
第11回	テーマ：企業金融の基本① 企業の投資行動		
第12回	テーマ：企業金融の基本② M/M理論の考え方		
第13回	テーマ：企業金融の基本③ 資本市場の不完全性とM/M理論		
第14回	テーマ：リスクの基本① 期待収益率と標準偏差		
第15回	テーマ：リスクの基本② ポートフォリオと相関係数		
第16回	定期試験		
テキスト	晝間文彦『基礎コース金融論』（第3版）、2011年（金融機関論と同じテキストです。）		
参考文献・資料	ボディ・マートン『現代ファイナンス論』（原著第2版）ピアソン桐原、2011年（著者はノーベル賞受賞者）		
成績評価の方法	期末試験60%、課題30%、コメントシート10%の合計を基に評価する。 確認問題を配布する。受講者は自らの理解度を確認するためにも必ず解答すること。 試験については努力が報われるような出題を心がける。		
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降に入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	月・水・金曜日の5限をオフィスアワーとする。ただし、研究室に在室中は原則として質問に応じる。		
生へのメッセージ	どのような分野で活躍するにも金融の基本事項は必須であるので、多くの受講者を歓迎する。この授業では、新しい知識を習得すること以上に、考えるプロセスを重視する。		

科目名	経済政策学	科目分類	□教養科目 ■専門科目	
			経済	□必修 ■選択
英文表記	Policy of Economy	開講年次	□1年 □2年 ■3年 ■4年	
ふりがな	のぐち ひでゆき	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	野口 秀行	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	日本経済の再興と第4次産業革命への対応			
授業概要	アベノミクスによりデフレスパイラルからの脱却は目前に迫っている。その一方で、世界は大変革の時代を迎えようとしている。日本はその変革とは何か、そしてその変革に対応できるのだろうかを解き明かす。			
到達目標	日経新聞が読解できる。			
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと			
履修条件	経済の基礎的な知識を有すること			
授業計画				
第1回	日本の置かれている状況把握～トランプ政権・イギリスのEU離脱、日本の外交政策の転換			
第2回	リーマンショックとは何だったのか～世界経済のバブル崩壊と日本経済の停滞			
第3回	米国とEUと日本などの先進国の停滞と中国・インド・ロシアなどの新興国の台頭			
第4回	円高と主要産業の国際競争力の喪失～東芝とシャープの経営破綻			
第5回	先進国による超金融緩和政策と産業構造改革～世界経済の牽引役の交代～新興国から日米へ			
第6回	中国をはじめとする新興国金融市場の脆弱性～民間企業の借入れ著増にともなうリスクと米国の利上げ			
第7回	原油価格等資源価格の下落と日本のエネルギー政策～脱炭素政策と金融市場の変化			
第8回	行き詰まる中韓経済と朝鮮半島情勢の見方～米国のアジア政策と北朝鮮の核開発と韓国の親中反米政権樹立			
第9回	第4次産業革命とは何なのか～IoT AI BD シンギュラリティについて			
第10回	仮想通貨がもたらした金融構造の変革～ビットコインとブロックチェーンそしてICO			
第11回	グローバルイノベーションと日本の科学技術政策～コネクテッドインダストリーズ			
第12回	アベノミクスの総仕上げとしての地域創生～如何に地域の生産性を引き上げるのか			
第13回	ポストアベノミクスとしての第4次産業革命～今後5年間でAIはここまで進む			
第14回	未来投資戦略 2017 ～Society 5.0 の実現に向けた改革～機械が人間に代替する職業とは			
第15回	今後の世界経済の行方を展望する～日米独どこが覇権を握るのか？中国は中所得国の罠から抜け出せるのか			
第16回	期末試験			
テキスト	プリント配布			
参考文献・資料	追って連絡します			
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。			
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日			
学生へのメッセージ	経済を面白く楽しく学びます			

科目名	コミュニティ・ビジネス論	科目分類	□教養科目 ■専門科目	
			経済	経済
			経済	経済
英文表記	Community Business	開講年次	□1年 ■2年 ■3年 ■4年	
ふりがな	のぐち ひでゆき	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	野口 秀行	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	コミュニティ・ビジネスが地域を活性化する			
授業概要	コミュニティ・ビジネスの目的は、住民主体のスモールビジネスを導入し、コミュニティに存在する様々な問題の解決に貢献することにあるが、それはボランティアと企業の中間的な領域に位置しているものであり、地域社会のネットワークに支えられて成立しうるものでもある。各地で芽吹きつつあるコミュニティ・ビジネスは、バランスの取れた経済社会の発展を支えるという側面からみても、社会的な意義は大きいといえる。			
到達目標	オールタナティブ・エコノミーの最先端を学ぶ			
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと			
履修条件	地域に関心を有していること			
授業計画				
第1回	コミュニティ・ビジネスとは			
第2回	もう一つの経済（ノン・プロフィット・エコノミー）が果たす役割			
第3回	NPOとコミュニティ・ビジネス～地域を変える力とは			
第4回	欧米におけるコミュニティ・ビジネスの事例～豊かさを実感できる社会の構築			
第5回	我が国におけるコミュニティ・ビジネスの事例～いま地方が面白い！			
第6回	コミュニティビジネス・スモールビジネス・ソーシャルビジネス			
第7回	我が国における起業環境とベンチャー・ファンド～PEF及びBOFを中心に			
第8回	CSR・SRIと人権～ナイキのスエット・ショップ			
第9回	TPPと中小企業のグローバル化			
第10回	地域金融論～欧米の多様なコミュニティ・ファイナンスと我が国のNPOバンク			
第11回	ソーシャル・インパクト投資、ダブル・ボトム・ライン（DBL）ファンド			
第12回	我が国におけるコミュニティ・ファイナンスの事例			
第13回	ソーシャルビジネスと老舗企業～近江商人の三方芳			
第14回	シェアリング・エコノミー～ライドシェア、民泊			
第15回	地方創生法におけるコミュニティ・ビジネスの役割と今後			
第16回	期末試験			
テキスト	プリント配布			
参考文献・資料	追って連絡します			
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。			
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日			
学生へのメッセージ	地方創生において一段と注目されるコミュニティ・ビジネスを学びます。			

科目名	地方財政論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済 学科 □必修 ■選択 法律 学科 □必修 □選択
英文表記	Local Public Finance	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	楠山 大暁	修得単位	2単位
授業のテーマ	人口減少社会に直面しているわが国の地方財政システムが抱える課題を経済学的に理解する		
授業概要	国、地方をあわせ1,000兆円を超える債務を日本の財政は抱えています。その一方で、人口減少社会が進行している地域の持続可能性を、いかにして維持していくかが問われています。本講義では、基本的な地方財政システムを学ぶとともに、地方政府が抱える問題の本質を経済学的に分析していきます。		
到達目標	地方財政の現状について経済学的に理解する		
授業時間外の学習	指定したテキストの該当箇所をよく読んでください。 期末試験のほか、中間テストを実施します。講義の復習をしっかりとってください。		
履修条件	ミクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅰ、財政学入門を履修していることが望ましい。		
授業計画			
第1回	ガイダンス、地方財政とは何か		
第2回	地方財政の仕組み		
第3回	地方財政の予算と収入① 地方交付税		
第4回	地方財政の予算と収入② 地方税		
第5回	地方財政の経費① 地方分権改革		
第6回	地方財政の経費② 少子高齢と地域の持続可能性		
第7回	政府の機能配分論		
第8回	中間テスト		
第9回	地方分権の経済理論① 分権化のメリット		
第10回	地方分権の経済理論② 分権化のデメリット		
第11回	補助金とソフトな予算制約		
第12回	地方財政の健全化		
第13回	地方財政のあるべき姿		
第14回	都市政策と福祉政策の統合① 地域包括ケアシステム		
第15回	都市政策と福祉政策の統合② コンパクトシティ		
第16回	定期試験		
テキスト	佐藤主光(2009)『地方財政論入門』新世社		
参考文献・資料	中井英雄・齊藤慎・堀場勇夫・戸谷裕之『新しい地方財政論』有斐閣		
成績評価の方法	【平常点(10%)、中間テスト(40%)、定期試験(50%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数規定に満たない場合は試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業中に小テストを数回実施します。 ・レポート課題は授業内で提示します。 ・授業の理解及び予復習が充分であるかを確認するため、第8回授業時に中間テストを実施します。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	毎週月・木曜日 14:40~16:10 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。		
学生へのメッセージ	地方行財政の現状・課題に対して問題意識をもってください。		

科目名	経営戦略論	科目分類	■第1グループ □第2グループ
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Strategic Management	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	い ち ょ ん み ん	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	李 廷 珉	修得単位	2 単位
授業のテーマ	グローバル化と戦略(型)経営		
授業概要	<p>経営史家として有名なチャンドラー教授によれば、戦略(strategy: ストラテジー)とは、「長期的な目標を定め、それをいかに達成するかという方針」のことです。したがって、戦略は、何も取締役などの経営陣や経営企画部の上位管理担当者だけに必要とされるものではなく、全社的に意識を高める意味でマネジメントに関わるあらゆる部署のそれぞれの担当者にも必要とされるものです。そして、より重要なことは、その戦略が株主や地域社会、消費者や協力企業、NPOなどのステークホルダを重視したものでなければ、社会の中において企業活動を続け、事業体として存続することができなくなるということです。</p> <p>これらの論点に関して、本講義は、その理論的な背景を追いつつ、事例研究を紹介しながら、「企業経営と社会」の問題の理解を深めます。</p>		
到達目標	戦略的思考を身につけ就職活動に役立てる		
授業時間外の学習	<p>1. 新聞、その他の経済誌、何れかのうち、一つを選び、継続して読んでいく習慣をつけて下さい。</p> <p>2. 暇を見つけては、図書館へ行き情報を収集し、先生方の研究室へ行き議論を仕掛けて下さい。</p>		
履修条件	日本経済論、経営学基礎論、経営管理論、人的資源管理論を受講することが望ましい。		
授業計画			
第1回	イントロダクション		
第2回	戦略の理解		
第3回	経営環境の理解－SWOT分析－		
第4回	経営環境の理解－外部環境の分析－		
第5回	経営環境の理解－内部環境の分析－		
第6回	事業ドメインの確立		
第7回	成長戦略－製品・市場マトリックス		
第8回	成長戦略－プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント (PPM)		
第9回	競争戦略－ポーター教授と競争戦略の意義－		
第10回	競争戦略－業界分析 (five forces analysis)		
第11回	競争戦略－3つの基本戦略－		
第12回	競争戦略－価値連鎖 (value chain) と戦略的ポジションニング		
第13回	競争戦略－経営戦略研究の最近の動向について (RBVの考え方との関連で)－		
第14回	戦略実行とコントロール		
第15回	復習・総括		
第16回	定期試験		
テキスト	講義資料 (パワーポイント資料) を配布する		
参考文献・資料	<p>石井淳蔵・奥村昭博・加護野忠男・野中郁次郎『経営戦略論』有斐閣、2008年。</p> <p>李廷珉「韓国サムスン電子の東アジア戦略と日本的経営」、林正樹編著『現代日本企業の競争力－日本的経営の行方－』ミネルヴァ書房、2011年。</p> <p>Ian Marcouse, Denry Machin, Philippa Anderson, Nigel Watson, Alexandra Black, <i>The Business Book</i> Dorling Kindersley, 2014.</p>		
成績評価の方法	【平常点 (25%)、レポート (25%)、定期試験 (50%)】 上記評価項目を基にして総合的に評価する。		
成績評価基準	<p>【平成27年度 (2015) 以前に入学した学生】 優 (100~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下)</p> <p>【平成28年度 (2016) 以降入学した学生】 秀 (100~90点)、優 (89~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。</p>		
オフィスアワー	毎週火曜日 13:00~14:30		
学生へのメッセージ	Start small, think big!		

科目名	憲法入門	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			法律 学科 ■必修 □選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Introduction to constitution	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	さとう ひろとし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	佐藤 寛稔	修得単位	2単位
授業のテーマ	憲法学の概要を学んだ上で基本的な概念を使って憲法問題を考える思考力を養います。		
授業概要	憲法は、国家の最高法規です。国の統治の基本構造は憲法によって定まっています。しかし、それ以上に重要なのは、憲法が国民によって作られ、そして国家に対して向けられたルールであるということです。この視点の有無は憲法の「見え方」を大きく変えます。本講義ではこの国民が国家に課したルールであるという点を強調して様々な憲法問題を分析していきます。		
到達目標	憲法学の思考様式の修得を目標にします。単なる感想や個人的な政治的見解の吐露にとどまらない憲法を論じ方を身につけるようにします。		
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回シラバスをみて、その回に扱う内容を確認し教科書の該当箇所を最低2回読んできてください。 ・最近では憲法にかかわる話題が多くなっています。政治的な主義主張に振り回されないように注意しながら、新聞等をよく読むようにしてください。 		
履修条件	大学は「学ぶ場」です。その点を十分留意した整容、言動等を心がけられる学生のみ履修を認めます。1年生の必修科目ですので、上級生が受講する場合には下級生の模範となる受講態度が求められます。		
授業計画			
第1回	ガイダンス 大学での憲法学の学び方		
第2回	日本の安全保障と憲法9条 集団的自衛権行使容認に至るまでの憲法解釈の変遷！		
第3回	意外に知られていない「人権」の意味！		
第4回	平等とは何か？親殺しは重罪？結婚していないカップルの子はどう扱われる？女子にのみ課されていた再婚禁止期間はどうか？		
第5回	政教分離と信教の自由は衝突しない？		
第6回	表現の自由の限界—プライバシー、名誉棄損、喧嘩言葉、差別的表現 猥褻表現		
第7回	メディアの取材の自由はどこまで認められるか？放送法の「公平性原則」と表現の自由		
第8回	やりたい仕事はなんでもできる？職業選択の自由とその規制		
第9回	社会権を理由に国民の経済活動を制限できるのは何故だろう？		
第10回	国民に主権があるとはどういうこと？本当に自分が国政の決定権はあるのか？		
第11回	権力が分立されている制度は不合理ではないのか？		
第12回	国会議員は、逮捕されない？何を話してもよい？何故、高い給料がもらえる？		
第13回	内閣総理大臣は実は強力な権限を持っている！		
第14回	裁判官が、国民代表機関の作った法律を無効にすることは民主主義と矛盾しないか？		
第15回	地方の時代とは言うけれど…「地方自治の本旨」とは？		
第16回	期末試験		
テキスト	芦部信喜 高橋和之補訂『憲法 (第6版)』(岩波書店) 六法は必ず持参してください。		
参考文献・資料	安念 潤司 小山 剛 青井 未帆 夙戸 常寿 山本 龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法 [第2版]』(東京法令出版)、長谷部恭男『憲法 (第7版)』(新世社)		
成績評価の方法	期末試験 (40%) 授業内テスト (45% 3点×15回) レポート課題 (15点) 欠席数が5回以上の者については、評価しません。この点はいかなる者のいかなる事情も考慮しません。部活、学校行事、病気、家庭の事情などでも認めません。また授業外学習支援への出席を本講義への出席に振り替えることはありません。授業に実質的に参加していない者は欠席とします。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	火曜日 9:00~10:30 水曜日 9:00~10:30		
学生へのメッセージ	勉強に躓くのは、比較的早い段階でのことが多いです。疑問が生じたら遠慮せずに質問しにきてください。		

科目名	民法入門	科目分類	■第1グループ □第2グループ	
			法律 学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Introduction of Civil Law	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	たかはし ゆうすけ	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	高橋 佑輔	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	民法の学習内容についてのハイライト			
授業概要	講義は原則として講義形式により実施します。レジュメ等で配布する事例を通じて民法規定と問題点について考えましょう。民法の主要論点について概観するとともに、民法が日常生活にどのように関わっているのかイメージを持つことが出来るよう、可能な限り身近な題材を取り上げて講義を行います。			
到達目標	民法で問題となる点について理解し、今後の民法学習につなげることが出来る。			
授業時間外の学習	講義で扱った範囲についてテキストを読んで復習する。			
履修条件	民法を学ぶ意欲をもって取り組むこと。			
授業計画				
第1回	第1回 ガイダンス・民法とは			
第2回	第2回 なぜ権利と義務は発生するかー			
第3回	第3回 どういったとき契約は無効・取消となるかー			
第4回	第4回 他人に契約交渉の依頼はできる？ー代理ー			
第5回	第5回 時間が経つと権利は取得できる？時間が経つと義務は消滅する？ー時効ー			
第6回	第6回 物の支配とはー所有権ー			
第7回	第7回 不動産物権変動と登記ー			
第8回	第8回 担保とはなにかー抵当権ー			
第9回	第9回 借りたお金を返済できなかったらー債務不履行ー			
第10回	第10回 他人の借金を保証したらー保証債務ー			
第11回	第11回 契約を止めたいー解除ー			
第12回	第12回 自動車事故と損害賠償ー不法行為ー			
第13回	第13回 親子関係の確定ー親族ー			
第14回	第14回 相続の諸問題ー相続ー			
第15回	第15回 まとめ			
第16回	第16回 定期試験			
テキスト	『スタートライン民法総論』[第3版] (池田真朗, 日本評論社)			
参考文献・資料	講義内で適宜指示する。			
成績評価の方法	定期試験の成績(100%)に平常点を加味して最終評価する。			
成績評価基準	1~3年生:秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(50点以下) 4年生:優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(50点以下)			
オフィスアワー	火曜日10:40~12:10・金曜日13:00~14:30			
学生へのメッセージ	事例等を通じて民法の規定や論点の意味を理解し、今後の学習に生かしてください。			

科目名	観光論入門Ⅰ	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			観光学科	■必修 □選択
英文表記	Introduction to Tourism Theory I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	いのうえ ひろし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	井上 寛	修得単位	2単位	
授業のテーマ	「観光」のキーワードを学ぼう			
授業概要	観光学科入学後、はじめての観光について専門的に学ぶ科目です。これから4年間観光を学ぶ上で必要な知識や考え方を学びます。特に、最新の観光について学ぶことを重視しますので、新聞やニュースの出来事を講義でも取り入れていきます。			
到達目標	観光学とはどのような学問なのか全体的に理解できるようになる			
授業時間外の学習	教科書はやや難解な部分があると思いますが、予習・復習時に目を通して下さい。新聞やテレビ、インターネットには「観光」の話題が豊富です。常日頃より観光のニュースに関心を持って生活してください。			
履修条件	必修科目に指定されています。観光学を学ぶ上での基本となりますので、観光学科1年生は観光論入門Ⅱ（後期）と併せてこの科目を受講することをお勧めします。			
授業計画				
第1回	観光学を学ぶために			
第2回	世界と日本の観光前史			
第3回	日本の観光時代—観光の国際化と大衆化			
第4回	観光サービスの特性			
第5回	観光行動の要因			
第6回	観光対象の分類			
第7回	消費者行動論と観光行動			
第8回	拡大する訪日観光			
第9回	観光経済の成長と日本			
第10回	産業分類と観光			
第11回	観光GDPと観光雇用			
第12回	観光統計			
第13回	観光立国と国際観光			
第14回	近年における国際観光の動向			
第15回	国際観光と社会変容			
第16回	試験			
テキスト	竹内正人他 編著『入門 観光学』ミネルヴァ書房 2018年 (2,800円+税)			
参考文献・資料	週刊「観光経済新聞」 ※図書館1階にあります			
成績評価の方法	①定期試験(50%)…知識を問う問題と論述問題を課します ②レポート課題(20%)…パソコンで作成し提出してもらいます。正当な理由なく提出期限を守らなかった場合は加点しません。 ③小レポート(15%)…毎時間出席カードの裏面に書いてもらいます。なお、課題に対して満身に解答する姿勢が見られない場合は、加点しない場合があります。 ④平常点(15%)…遅刻、マナー違反(私語・携帯操作・途中無断退席など)は加点しないほか、悪質な場合は欠席扱いとします。			
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			
オフィスアワー	① 毎週月曜 10:40~12:10 ②毎週金曜 13:00~14:30			
学生へのメッセージ	観光は新しい「アイディア」が大切です。既成概念にとらわれず、柔軟な発想で新しいアイディアを提案できるように日頃よりトレーニングしましょう。			

科目名	秋田県の歴史と文化	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			観光学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	History and Culture in Akita Prefecture	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	かまだ ゆきお	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	鎌田 幸男	修得単位	2単位
授業のテーマ	近世秋田の歴史と文化の概要を知る。		
授業概要	【授業概要】秋田県の歴史の全体像に触れるが、本講義では、とくに江戸時代以降の歴史と人物と文化に視点をあてて考える。佐竹氏の転封、秋田の物産流通、また秋田を訪ねた文人や紀行家、秋田の偉人、それに民俗芸能などを中心に考えるが、八郎潟の干拓事業と農村にも触れる。そして講義の中で課題発表する(受講人数により変更がある)。また講義の時間内に小テストを1回実施する。		
到達目標	秋田城と久保田城、著名な文人、重要な民俗芸能などの概要説明ができる。		
授業時間外の学習	① 歴史や文化、著名な文人、重要な民俗芸能などに興味や関心を持ち、何か一つを見つけてその概要を調べるようにする。		
履修条件	家の周りや通学途上の道ばたなどから文化財を見つけて調べる。それは授業に役立つ。		
授業計画			
第1回	秋田県の夜明け—米々森遺跡、縄文時代の暮らし、稲作のはじまり。		
第2回	出羽郡と出羽柵と秋田城を考える		
第3回	出羽と平泉文化—清原氏と後三年の役、そして安東とその時代。		
第4回	安東氏の秋田進出とその時代—秋田定着、日本海の高運のこと。		
第5回	佐竹氏の転封と秋田藩—佐竹義宣、久保田城と町割り。		
第6回	釜山の隆盛と民衆、藩財政を潤した秋田杉、穀倉地帯、油田など。		
第7回	土崎港の賑わい—雄物川を下る秋田の米、能代港、北前船の往来。		
第8回	近代秋田のはじまり—戊辰戦争と明治初年の秋田。		
第9回	みちのく秋田の文化を考える—発表①—菅江眞澄、石川理紀之助		
第10回	みちのく秋田の文化を考える—発表②—佐藤信淵、平田篤胤		
第11回	みちのく秋田の文化を考える—発表③—安藤昌益、小田野直武		
第12回	秋田の祭りと芸能—竿燈、盆踊り、鎌倉、ナマハゲ、綱引きなど		
第13回	戦後の秋田—占領軍の秋田進駐、農村の変貌		
第14回	八郎潟干拓事業とモデル農村		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		
テキスト	講義のときプリントを配布		
参考文献・資料	秋田県の歴史と風土(創土社)、風土と文化(秋田県書店組合)		
成績評価の方法	① 定期試験(60%)、②小テストを実施(20%)、③課題発表(20%)、①②③の総合評価をする。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	① 火曜日、水曜日(14:40-16:10) ②これ以外の場合は事前に連絡すること。		
学生へのメッセージ	① 図書館には秋田県の歴史や文化、文化財の参考資料がたくさんある。調べてノートに書く。それは知識になると思う。③調べたことは、必ず勉強に役立つ。		

科目名	旅行業法と約款	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			観光学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Tour Business Law & Articles of Contract	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	みちはた ただよし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	道端 忠孝	修得単位	2単位
授業のテーマ	いかにして企画旅行参加者は保護されているか		
授業概要	<p>本講は、旅行業務取扱管理者試験の出題科目である旅行業法と旅行業約款を対象とします。旅行業法は、根本的には、旅行者の保護を目的にしていますが、その保護のしくみ（登録制度、旅行業務取扱管理者制度、営業保証金制度など）を明らかにします。</p> <p>また、旅行業約款は、旅行者があらかじめ定める契約条項ですが、現在、標準旅行業約款が用いられていますので、この内容を中心に講義します。</p>		
到達目標	受験対策としての旅行業法・旅行業約款		
授業時間外の学習	最低限、授業予定についての予習をし、ポイントをノートに整理してください。		
履修条件	国内・総合旅行業管理者の受験入門も受講して下さい。		
授業計画			
第1回	旅行業法、旅行業務取扱管理者試験の概要		
第2回	旅行業法の目的・体系		
第3回	旅行業法の規制概要		
第4回	旅行業の定義		
第5回	旅行業の登録など		
第6回	営業保証金と弁済業務保証金分担金		
第7回	営業上の規制①		
第8回	営業上の規制②		
第9回	営業上の規制③		
第10回	標準旅行業約款の概要		
第11回	募集型企画旅行契約①		
第12回	募集型企画旅行契約②		
第13回	募集型企画旅行契約③		
第14回	受注型企画旅行契約		
第15回	手配旅行契約・旅行相談契約		
第16回	定期試験		
テキスト	『旅行業務取扱管理者試験一発合格テキスト (2) 旅行業法・約款 (2018)』大原出版		
参考文献・資料	必要時応じて紹介する。		
成績評価の方法	<p>小テスト (30%)、定期試験 (70%)】以上の項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合は試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に何回か小テストを行います。 ・レポート課題は授業内で指示します。 		
成績評価基準	<p>【平成27年度 (2015) 以前に入学した学生】 優 (100~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下)</p> <p>【平成28年度 (2016) 以降入学した学生】 秀 (100~90点)、優 (89~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下)</p>		
オフィスアワー	毎週火曜日・金曜日 14:30~16:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。		
学生へのメッセージ	旅行業務取扱管理者の資格を取得して、キャリアアップを図りましょう!		

科目名	アジアの観光地理	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			観光学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Tourist Geography of Asia	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	よこた けいざぶろう	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	横田 恵三郎	修得単位	2単位
授業のテーマ	アジア諸国を“観光”という切り口で地理のみならず文化や民族、社会についても理解を深める。		
授業概要	本講義では、各国の地勢(位置)をまず把握したうえで当該国に係わる一般基礎データを確認し、押さえておくべき代表的な観光対象について画像・映像をも活用しながら紹介していく。 アジア各国は夫々特徴ある文化や観光資源を有しており、各々の特徴を確実に吸収するために復習テストを実施する。		
到達目標	アジア各国の観光地理や文化に関する基本的な知識を習得できる。		
授業時間外の学習	授業で学習した代表的観光対象について、自分なりの手法で更に再確認することにより知識の定着に努めること。		
履修条件	アジアの地理や観光資源に興味を有し理解を深めたいとの意思を有していること。		
授業計画			
第1回	ガイダンス アジアの地理的概要(国名、位置、首都等)		
第2回	復習テスト、シンガポール、マレーシア		
第3回	インドネシア		
第4回	タイ		
第5回	復習テスト、ベトナム		
第6回	カンボジア		
第7回	フィリピン		
第8回	復習テスト、香港、マカオ		
第9回	インド、ネパール、ブータン		
第10回	復習テスト、中国-1		
第11回	中国-2		
第12回	台湾		
第13回	韓国		
第14回	復習テスト、ラオス、ミャンマー		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		
テキスト	毎回、関連する資料を配布します。		
参考文献・資料	授業中に紹介します。		
成績評価の方法	定期試験・復習テスト 50%、授業態度・取組姿勢 50%とし総合評価します。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	① 毎週火曜 午前中 ②毎週木曜 午前中		
学生へのメッセージ	皆さんがどのような業界に就職しようともアジアの国々(人々)との関係は今後益々深まっていきます。従って将来に備えてアジア各国の観光地理はじめ基本的事項を知識として保有しておくことが大切です。日頃から興味を持ってテレビやWeb等各種メディアを通じてそれら知識の吸収を積み重ねて自分のものにして下さい。		

科目名	日本の観光地理	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			観光学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Tourist Geography of Japan	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	よこた けいざぶろう	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	横田 恵三郎	修得単位	2単位
授業のテーマ	日本各地方における地勢と代表的な観光対象の分布や特徴を大筋で捉える。		
授業概要	本講義では、各地方の地理的な全体像をまず把握したうえで属する都道府県の状況なり特徴を紹介する。その上で観光学科の学生として当該地方の最低限押さえておくべき代表的な観光対象について画像・映像をも活用しながら講義し、観光地理の基本的知識の吸収と定着を図る。		
到達目標	日本各地方の基本的な観光地理について理解できる。		
授業時間外の学習	授業で学習した代表的観光対象について、自分なりの手法で更に再確認することにより知識の定着に努めること。		
履修条件	日本の地理や各地方の観光資源に興味を有し、理解を深めたいとの意思を有していること。		
授業計画			
第1回	ガイダンス 都道府県、県庁所在地の確認		
第2回	北海道の観光地理①		
第3回	北海道の観光地理②		
第4回	東北地方の観光地理①		
第5回	東北地方の観光地理②		
第6回	関東地方の観光地理①		
第7回	関東地方の観光地理②		
第8回	中部地方の観光地理①		
第9回	中部地方の観光地理②		
第10回	近畿地方の観光地理①		
第11回	近畿地方の観光地理②		
第12回	中四国地方の観光地理①		
第13回	中四国地方の観光地理②		
第14回	九州地方の観光地理①		
第15回	九州地方の観光地理②		
第16回	定期試験		
テキスト	毎回、関連する資料を配布します。		
参考文献・資料	授業中に紹介します。		
成績評価の方法	定期試験 50%、授業態度・取組姿勢 50%とし総合評価します。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	① 毎週火曜 午前中 ②毎週木曜 午前中		
学生へのメッセージ	観光学科の学生皆さんにとって、まず自らの国である日本の観光地理について基本的知識として保有しておくことが大切です。日頃から興味を持ってテレビやWeb等各種メディアを通じてそれら知識の吸収を積み重ねて自分のものにして下さい。社会人になってからあらゆる場面でその引き出しを開ける時が来るはずですよ。		